

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど
 よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2017年6月2日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備 考
5752 7	膵グルカゴン 4G030-0000-022-023	速やかに 冷却遠心 血漿 0.5	PAP ↓ A00	凍結 (28日)	5~11	150 ※4	ELISA	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)	指定の容器(PAP)に採血し、よく混和させ、低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。GLP-1、GIPと重複依頼される際にはGLP-1、GIPの検体取り扱い方法にて採取した検体をご提出ください。
5753 4	GLP-1(活性型) 4G037-0000-022-023	速やかに 冷却遠心 血漿	PAP ↓ A00	凍結 (28日)	事前 にご 確認 くださ い		ELISA	(pmol/L)	 指定の容器(PAP)に採血し、DPP-IV inhibitor(血液1.0mLに対し10μL)を加え、混和後冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。
5754 1	GIP(活性型) 4G039-0000-022-023	(採取時DPP-IV inhibitor加) 各0.5							

判断料※4生化学的検査(Ⅱ)

● 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を中止させていただきます

項目 コード	検査項目	受託中止日
6524 0	膵グルカゴン	2017年6月1日ご依頼分をもって受託中止
6467 0	活性型GIP(非抽出法)	

●膵グルカゴン

グルカゴンは膵 α 細胞から分泌され、肝臓に作用し血中のグリコーゲン放出を促進する作用があります。糖尿病では食後のグルカゴン濃度上昇（分泌抑制できない）があるとされ、食後高血糖にはインスリン分泌不全とグルカゴン過剰分泌が関与しているという報告があります。

本検査は、血中に存在するグルカゴンと同様のアミノ酸配列をもつグルカゴン様ペプチドを測りこむことがないため、従来のRIAに比べてグルカゴンを特異的に測定することができます。糖尿病の病態把握や治療薬の選択に有用な検査として期待されています。

▼検査要項

検査項目名	膵グルカゴン
項目コード No.	5752 7
検体量	血漿 (EDTA-2Na+アプロチニン) 0.5 mL
容器	PAP (D) → AOO (X)
保存方法	必ず凍結してください
所要日数	5~11 日
検査方法	ELISA
基準値 (単位)	空腹時 5.4~55.0 (pg/mL)
検査実施料・判断料	150 点、診療報酬区分 D008 (21) 内分泌検査・※4 生化学的検査 (Ⅱ)
備考	指定の容器 (PAP) に採血し、よく混和させ、低温 (4℃) で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。GLP-1、GIP と重複依頼される際には GLP-1、GIP の検体取り扱い方法にて採取した検体をご提出ください。

●参考文献

検査方法参考文献 : 稲垣 貴之,他:医学と薬学 72 (3): 491~497,2015.
臨床的意義参考文献 : 河邊 顕,他:日本臨床 63 (増 8): 493~495,2005.

●GLP-1 (活性型) / GIP (活性型)

GLP-1は小腸下部のL細胞から分泌され、膵 β 細胞からのインスリン分泌促進と膵 α 細胞からのグルカゴン分泌抑制の作用があり、さらに、中枢神経系での食欲抑制作用や胃からの消化物の排泄遅延作用、心保護作用などが報告されています。GIPは小腸上部のK細胞から食物の脂肪刺激により分泌され、GLP-1と同じように膵 β 細胞に作用しインスリンの分泌を促進しますが、この働きはGLP-1の方が数倍強いとされています。また、GIPには栄養素を脂肪細胞に蓄積する作用や骨芽細胞の機能を高めて骨へカルシウムを蓄積する作用なども報告されています。

▼検査要項

検査項目名	GLP-1 (活性型)	GIP (活性型)
項目コード No.	5753 4	5754 1
検体量・容器	血漿 (EDTA-2Na+アプロチニン、採取時 DPP-IVinhibitor 加) 各 0.5 mL PAP (D) → AOO (X)	
保存方法	必ず凍結保存してください	
所要日数	事前にご確認ください	
検査方法	ELISA	
基準値 (単位)	(pmol/L)	
検査実施料・判断料	—	
備考	指定の容器 (PAP) に採血し、DPP-IVinhibitor (血液 1.0mL に対し 10 μ L) を加え、混和後冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。	

●参考文献

臨床的意義参考文献 : 松山 辰男:日本臨床 68 (増 7) :533~536,2010.